

リアルタイム現地情報

JA ほこた苺部会および JA 茨城旭村いちご部会の圃場巡回を行いました

5月14日から16日にかけてJAほこた苺部会を、5月21日から23日にかけてJA茨城旭村いちご部会の部会員を対象に、ほ場巡回を行いました。

巡回は普及センター職員と農協の営農指導員のほか、肥料メーカーの担当者が合同で実施し、育苗の状況や今後の管理について指導や意見交換を行いました。普及センターからは育苗期間中の病害虫対策を中心に指導しました。

今年は親株の定植作業やポット等の準備も概ね平年通り進んでおり、ランナーの発生状況も良好となっています。一方、イチゴ栽培において重要な病害虫である炭疽病やハダニが発生している生産者もいたことから、9月頃まで続く長い育苗期間中に、切れ目なく効果的な対策を講じていく重要性を生産者・関係者間で再確認しました。

鉾田市はいちごの作付面積が県内一であり、生産者と関係者が一丸となって収量・品質の向上に意欲的に取り組んでいます。今後も普及センターでは、いちご経営体の所得向上のために支援をしていきます。

鉾田地域農業改良普及センター（成長産業）



イチゴ苗育の様子